

寒中お見舞い申し上げます。お正月3が日は暖かい日が続き予想通りの暖冬でしたが、1月半ばには極寒になり寒さが堪えませんでした。沖縄にも雪が降るなど、何十年ぶりかの異常気象が起こり、そんなこんなで寒暖の差が激しく、風邪が増えておりますので、要注意です。

安倍政権になって1強多弱、政高党低が定着して首相ひとりで何もかもできると思っているのでは？今回の複数税率の導入は法制がどうのこうのと言うよりも、完全に参議院選挙を見据えての決定であります。アベノミクスの影響で、多少は景気回復が感じられるようになってきておりましたが、1月の株価の乱高下や為替の円高などで先行きが怪しくなってきました。安倍首相のお得意の「安倍過ぎる」でもって、詭弁とすり替えて「新3本の矢」を出してきました。目指すは「一億総活躍社会」であり、少子高齢化に歯止めをかけ、50年後も、人口1億人を維持する。アベノミクスは「第二ステージ」へと移りますと宣言し、GDP600兆円を目指し、希望を生み出す強い経済を創り、希望出生率1.8を実現して、夢をつむぐ子育て支援を充実して待機児童ゼロを実現し、幼児教育の無償化を更に拡大するとしている。介護離職ゼロの実現を目指して、介護施設の整備や、介護人材の育成を進め、在宅介護の負担を軽減する。仕事と介護が両立できる社会づくりをすると高らかに宣言しています。何も文句を言うところはありません。これが実行できればこんなに素晴らしいことはありません。

平成28年度の税制改正大綱は消費税率の複数税率の導入しか大きな改正はありません。本質論の論議が国会で始まると思われませんが、軽減税率という響きだけで導入するか？事業者の混乱は今から目に見えています。欧州でも不備が指摘されている複数税率方式は止めるべきです。この論議に新聞は何も言いません。自分たちも軽減税率対象者なので。平成33年4月からはインボイス方式（税額票）を採用するとなっていますので、マイナンバーとインボイスが連動して全てが白日の下にさらされる超管理社会となるでしょう。平成30年からは預貯金にもマイナンバーが必要とされますので、なお管理がやりやすくなってきます。どうなることか？

確定申告の時期となりました。お早目によろしく願いいたします。